



会 長:寺下能明 幹 事:小林一三 会報委員長:寺下能明

事務局 E-Mail : rotary@wakayama-serc.org http://wakayama-serc.org/

例会日 水曜日 例会場:村アパローム紀の国 第1, 第2, 18:30~(夜) 第3, 第4, 第5, 12:30~(昼)

5/31 (水) 例会ゲスト・ビジター報告

ゲスト・ビジターはございません

《 会長挨拶 》 寺下能明会長

本日も例会にご出席していただき、有り難うございます。
今日の卓話のテーマは、「石垣に見る和歌山城の歴史」となっています。
私などの歴史好きには興味あるテーマです。NHKでも、お城の特集なんか
ございまして、楽しく視聴しています。今日は時間の許す限り、お話をいた
くことになっています。どうぞご静聴下さいませようお願いします。



《 幹事報告 》 小林一三幹事

- ① 2 件事務局に届いておりますので、各テーブルに一部置いてあります。ご一読頂
き、御入用の方はお持ち帰り下さい。
・米山梅吉記念館 館報 春号 Vol. 41 ・サポセン和歌山 第 53 号
- ② 第 73 回社会を明るくする運動 和歌山市委員会開催について。
日時・場所：6 月 6 日(火)11:00~12:00、中央コミュニティセンター
寺下会長に出席いただきます。よろしくお願ひいたします。
- ③ 令和 5 年度「ダメ。ゼッタイ。」普及運動に対する協力にについて。の文書が
和歌山県薬務課より届いております。
実施期間：6 月 20 日~7 月 19 日まで。広報機関等による啓発宣伝や地域団体キャンペーン実施の
他、6 月 24 日(土)・25 日(日)は「6・26 ヤング該当キャンペーン」で駅前などでのぼりを掲げ、
通行人にパンフレット等の配布及び募金を募る。
- ④ 来週(6/7)の例会は休会です。
- ⑤ 6 月 14 日(水)、21 日(水)の例会は年間活動報告です。各委員会 委員長の皆様、発表、よろしく
お願ひいたします。



「 本日の例会 」 2023 年 6 月 14 日(水) 18:30~ アパローム紀の国

- ・開会点鐘 寺下会長 ・ロータリーソング 君が代、われ等和歌山東南ロータリー、バースデイソング
- ・出席報告(例会委員会) ・ニコニコ箱(寄付金)報告 ・委員会報告
- ・「 行 事 」 年間活動報告① 各委員会 ・閉会点鐘 寺下会長

本日の出席報告					寄付金	ニコニコ	米山記念 奨学会	ロータリー 財団	東南 育英会
会員総数	36名	出席者	出席率						
出席免除会員	2名	5/31	20名	57.14%	累計	1,565,346	310,000	386,000	8,000

《 ニコニコ箱報告 》 平 平治 会計

寺下君：今日の卓話 伊津見様、よろしくお願いします。

神谷君：スペシャルオリックス日本・和歌山が販売します「そうめん」の販売にご協力ください。

結婚記念日お祝い：岸君（記念品ありがとうございました）



《 米山記念奨学会 》

小林君：主旨に賛同して。

《 委員会報告 》



2023-24 年度社会奉仕委員会

次年度社会奉仕委員会事業「秋の収穫祭（さつまいも堀）に向けての準備作業」について。6月5日（水）14:00～、和歌山市西浜（嶋本脳神経外科・内科様の横の畑）で「枝豆の作付けのためのマルチシート張り」を行います。

皆様のご参加、ご協力、よろしくお願い致します。

「♪ソング斉唱♪」

“花になろう 鳥になろう”

山田会員



クラブフォーラム 社会奉仕委員会
卓話「石垣に見る和歌山城の歴史」
和歌山城整備企画課 学芸員 伊津見孝明様

和歌山城といえば昭和 33 年(1958)に再建された連立式天守のイメージが強いですが、それ以外にも和歌山城の歴史を語る上で欠かせない存在として石垣が挙げられます。

和歌山城は、天正 13 年(1585)、羽柴(豊臣)秀吉が弟の秀長に命じて虎伏山に築かせたのが始まりですが、秀長は同年中に大和郡山城(奈良県)に居城を移したため、家臣の桑山重晴が城代として和歌山城に入ります。

この I 豊臣・桑山期に築かれた石垣は城の周辺で採れる結晶片岩を用い、石を加工せずにそのまま積む野面積みという技法で構築されています。この時期の石垣は主に虎伏山山頂や天守台で確認できます。

関ヶ原の合戦後、和歌山城には桑山氏に代わって浅野幸長が入りますが、幸長は二の丸や西の丸等を増築する等、和歌山城を大規模に拡張します。この II 浅野期の石垣は、友ヶ島で採れる砂岩を用いた打ち込み接ぎという技法が採用されています。砂岩は加工がしやすいためか、和歌山城の石垣の中で一番多く見られる石材です。

元和 4 年(1619)、徳川家康 10 男の頼宣が和歌山城に入ると、さらに砂の丸と南の丸が増築されますが、基本的には II 浅野期と同様に砂岩を用いた石垣が築かれます。ただし、その後は砂岩だけでなく、熊野産と考えられる花崗班岩も一部で採用されるようになります。一方、技法については打ち込み接ぎだけでなく、加工した石を隙間なく積む切り込み接ぎが登場し、石垣の構築技法に大きな進歩が見られるようになりました。

以上のように和歌山城では、I 桑山・豊臣期、II 浅野期、III 徳川期と時代毎に異なる石材と技法で構築された石垣が見られますが、このバラエティに富んだ石垣こそ和歌山城の歴史を物語る貴重な遺構といえるでしょう。



「東南会カップ争奪戦ゴルフコンペ」2023年5月27日(土) 9:00～、
 場所：国木原ゴルフ倶楽部、懇親会：大芳
 優勝 松田会員 2位 中曾会員 3位 中岡会員



「年間優勝」
松田敏明会員



「第1回優勝」 松田会員



「第2回優勝」 鯨会員



「第3回優勝」 中岡会員



「第4回優勝」 中曾会員



「第5回優勝」 吉田会員



「第6回優勝」 太田会員



「次年度(2023-24年度)社会奉仕事業「秋の収穫祭(さつま芋堀)」に向けての[枝豆の作付けのためのマルチシート張り]」

2023年6月5日(月) 14:00~16:00、場所: 嶋本脳神経外科・内科様の横の畑

参加者: 塩崎会員、坂本会員、松田会員、溝落会員、吉田会員、中岡会員、岸会員



「和歌山市内 9R.C.共同奉仕事業 [トルコ大地震 義援金]」贈呈式
 2023年5月26日(金) 14:00～ 場所:和歌山県庁 3F特別会議室
 参加者:市内 9R.C.会長 東南 RC 寺下会長



2023年(令和5年)6月2日(金曜日) (日刊) わかやま新報

困ったときは助け合い

和歌山市9RCトルコ地震へ義援金

2月に発生したトルコ南東部地震の被災支援を目的に、和歌山市内九つのロータリークラブ(RC)は共同で、義援金108万9000円を県に寄託した。会員からの提案がきっかけとなり、5月12日に全クラブ一斉に全額を県に寄託した。贈呈式は5月26日、県庁の特別会議室で行われた。国際ロータリー12640地区の田原久一ガバナード補佐、南RCの中村和子会長、和歌山東南RCの寺下能明会長、和歌山北RCの榎谷知樹社会奉仕委員長、和歌山アゼリアRCの梅田千景会長、和歌山中RCの宮本嘉久会長、



前企画部長に目録を手渡す宮本会長



目録を手前に企画部長(後列左から2番目)とRCの皆さん

て和歌山中RCの宮本復興に使ってほしいの前島企画部長に本会長は、「和歌山」とあいさつ。県目録を手渡し、「とても関心がある」と聞いている。和歌山の人にも、トルコへの関心をさらに高めたい。困ったときはお互いに助け合おう」と話した。県経由でのトルコ南東部地震への義援金は、5月15日時点で約5500万円となっている。

目録

一、金 壹百八萬九千円 也

右、トルコ共和国南東部における地震被害に対する災害義援金としてお贈りいたします

令和五年五月二十六日
 国際ロータリー12640地区
 和歌山市内九ロータリークラブ
 和歌山県 殿